株式会社エクストランス

X-MON3

X-MON 警告灯管理

まえがき

本書は X-MON3 系列にて X-MON にて警告灯を登録・管理する手順となっています。 警告灯を導入する際にご利用ください。

本書における解説環境

X-MON ver3.9.0

本書以外のマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。 https://x-mon.jp/support/

2013年3月

改言	丁履歴	
2013年3月	初版	
2019年9月	第三版	

Copyright © 2004 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

内容

ま	えがき	±1
1	事育	前準備4
	1.1	作業の流れ4
	1.2	サポートしている警告灯の種類4
	1.3	警告灯への X-MON からの通信について4
2	藝生	5灯と連携させるには
	2.1	エスカレーションとは5
3	X-№	40N に警告灯を登録する6
	3.1	警告灯を登録する6
	3.2	警告灯を編集する10
	3.3	警告灯を削除する10
	3.4	二台目以降の警告灯を登録する11
4	障害	害時の点灯設定
	4.1	ホスト用とサービス用について12
	4.2	点灯設定を新規作成する13
	4.3	点灯設定を編集する
	4.4	点灯設定を削除する
5	ホス	スト、サービスに対して警告灯を設定する(エスカレーション)
	5.1	設定する18
	5.2	エスカレーション対象を追加・削除する
	5.3	警告灯(エスカレーション)を無効・削除する25
	5.3	.1 設定を無効にする25
	5.3	.2 設定を削除する25
6	通常	常時の点灯設定
	6.1	設定について26
	6.2	ステータス状況に対する設定を変更する28
	6.3	運用事例
7	点灯	丁パターン設定
	7.1	点灯パターンを新規作成する

7.2	点灯パターンを編集する	33
7.3	点灯パターンを削除する	33

1 事前準備

事前に準備頂く項目について記載しています。

1.1 作業の流れ

作業は以下の流れで実施します。



主な設定は3~5章にて解説します。

1.2 サポートしている警告灯の種類

X-MON にてサポートしている警告灯に関しましては、X-MON サポートサイトをご確認ください。

1.3 警告灯への X-MON からの通信について

X-MON から警告灯へは SNMP を用いて通信を行います。

そのため、警告灯の IP アドレス、SNMP コミュニティ名の設定は事前に設定頂くよう、お願い します。

また、X-MONの IP アドレスから SNMP の通信(Read/Write 権限)を許可してください。

設定方法については各機器のマニュアルをご確認ください。

2 警告灯と連携させるには

X-MON と警告灯を連携するには「エスカレーション」という設定を使用します。 警告灯との連携において必要な流れについて解説します。

2.1 エスカレーションとは

ホスト、サービスのステータス変化が発生した際に、どのステータスやタイミングで警告灯の点 灯を命令するかの設定が出来ます。

例えば、ホスト 01 に対して死活監視(ping)と Web サービス(httpd)のサービスを設定していて警告灯を設定したいとします。

・ping に対しては WARNING, CRITICAL, UNKNOWN, 復旧時に警告灯を点灯させる

・httpd に対しては WARNING, CRITICAL 時に警告灯を点灯させる

といった形で設定が可能です。

(実際にはどの点灯設定を実行するかも選択します)

さらにホストに割り当てる場合は複数ホストを同時に、サービスに割り当てる場合は複数サービス(別ホストのも含めて)を同時に設定する事が可能です。

X-MON では点灯パターンも独自に作成出来ますので、どの点灯パターンを実行するかを選択出来ます。

独自の点灯パターンを作成しない場合、X-MON ではデフォルトで推奨する設定を準備しており ますのでぜひご活用ください。

3 X-MON に警告灯を登録する

この章では X-MON に警告灯を登録する手順を解説していきます。

本書ではアイエスエイ社の DN-1000RN-3LB を使用します。

設定例では下記のように設定していきます。

ID	K_01
警告灯名称	監視室警告灯
IP アドレス	192.168.13.211
警告灯機種	DN-1000RN-3LB
警告灯接続タイプ	snmp
コミュニティ名	keikoku

3.1 警告灯を登録する

X-MON に使用する警告灯を登録します。

X-MONの「管理者メニュー」の「警告灯設定」を開きます。



警告灯一覧の画面となります。

まだ警告灯が1つも設定されていないので何も表示されません。

新規作成のボタンを押し、警告灯設定登録画面を開きます。

警告灯一覧
警告灯設定 点灯パターン設定
← 一覧へ 新規作成 図 削除 ○ 削除と承認
警告灯を登録して下さい。

各入力項目の説明は下記となります。

入力規制はオンラインヘルプをご確認ください。

ID	登録する警告灯の任意の ID を入力します。	
	新規作成時のみ設定が可能であり、変更はできません。	
警告灯名称	登録する警告灯の任意の名称を入力します省略された場合、ID と同	
	じ文字列が設定されます。	
IP アドレス	警告灯の IP アドレスを入力します。	
警告灯機種	警告灯機種をセレクトボックスから選択します。	
警告灯接続タイプ	警告灯の接続タイプをセレクトボックスから選択します。	
コミュニティ名	snmp の接続コミュニティ名を入力します。	
新規登録時の点灯	新規登録時のみの項目です。登録した警告灯の通常時点灯及び障害	
パターン	時点灯初期設定を選択します。	
	推奨デフォルト設定:通常時点灯及び障害時点灯設定の「標準の木	
	スト障害時通知」「標準のサービス障害時通知」に適応されます。	
	○○と同じ点灯パターン:既に作成されている警告灯と同じ設定が	
	通常時点灯及び障害時点灯設定に反映されます。	

X-MON では点灯パターンの推奨設定をデフォルトで備えています。

点灯パターンを作成せずともこちらを使用する事で簡単に設定が可能です。

推奨設定の点灯パターンは下記となります。警告灯を登録後、「障害時点灯設定」でも確認出来 ます。 ・ホスト障害時の設定は「標準のホスト障害時通知」

監視ステータス	点灯パターン	〇秒後の動作
DOWN	赤点滅・音有り	5 秒後に消灯消音
UNREACHABLE	赤点滅・音有り	5 秒後に消灯消音
UP	赤黄緑点滅・音有り	3 秒後に消灯消音

・サービス障害時の設定は「標準のサービス障害時通知」

監視ステータス	点灯パターン	〇秒後の動作
CRITICAL	赤点滅・音有り	5 秒後に消灯消音
WARNING	黄点滅・音有り	5 秒後に消灯消音
UNKNOWN	緑点滅・音有り	5 秒後に消灯消音
ОК	赤黄緑点滅・音有り	3秒後に消灯消音

障害時の点灯設定の詳細は 4章 障害時の点灯設定 をご参照ください。

义	設定例
---	-----

警告灯の作成分	
ID	
K_01	
警告灯名称	
監視室警告灯	
IPアドレス	
192.168.13.211	
警告灯機種	
DN-1000RN-3LB ~	
警告灯接続タイプ	
snmp ~	
コミュニティ名	
keikoku	
新規登録時の点灯パターン	
推奨デフォルト設定~	
警告灯の点灯テスト 🕗	
> テスト実行	
● キャンセル 2 作成 6 作成と承認	

設定を入力後、警告灯が入力された設定で動作するかを確認する場合は「警告灯の点灯テスト」 ボタンを押してください。警告灯の点灯テストは、実際に警告灯に対して点灯指示を X-MON か ら送信し、警告灯が意図通りに動作するかを確認できます。

テスト後、正常に動作する場合は以下の様に表示されます。

警告灯の点灯テスト 🚱
テスト実行
警告灯の点灯テストに成功しました。

問題ない場合は「作成と承認」ボタンを押した後 X-MON を再起動し、設定を反映させてください。

正常に登録が出来れば警告灯一覧に登録した警告灯が表示されます。

警告灯一覧	
警告灯設定 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定	
← 一覧へ 新規作成 図 削除 (● 削除と承認)	
10 冬班 場作	
□ K_01 監視室警告灯 ▲編集	

これで X-MON への警告灯の登録は完了です。

3.2 警告灯を編集する

登録した警告灯の情報を編集するには各警告灯名称横の「編集」ボタンを押してください。

警告灯一覧											
- 警告灯設定 <u>障害時点灯設定</u> <u>通常時点灯設定</u> <u>点灯パターン設定</u>											
-	- 「覧へ」	Ŧ 新規作成	■ 削除 ● 削除と承認								
	ID	名称									
	□ K_01	監視室警告灯	【 编集								

入力内容は作成画面と変わりません。

編集を行った後、問題が無ければ「編集と承認」ボタンを押し、X-MON を再起動して変更を確 定させてください。

3.3 警告灯を削除する

登録した警告灯を削除するには警告灯一覧の該当する警告灯を選択し、「削除と承認」ボタンを 押します。

警告灯一覧									
- 警告灯設定 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定									
← -覧へ)	🚹 新規作成	🗙 削除 💽	・削除と承認						
ID	名称	操作							
□ <_01 監視室警告灯		💊 編集							

削除の確認画面が表示されます。

削除される警告灯設定の名称が表示されますので、問題が無ければ「OK」ボタンを押し、X-MON を再起動して削除を確定させてください。

これで警告灯の削除は完了です。

3.4 二台目以降の警告灯を登録する

二台目から警告灯を登録する際は、すでに登録している警告灯の点灯設定をコピーして設定する 事が出来ます。

点灯パターンは、「障害時点灯設定」と「通常時点灯設定」が含まれます。

一台登録している状態で新規作成を開きます。

警告灯一覧	
警告灯設定 <u>障害時点灯設定</u> <u>通常時</u>	点灯設定 点灯パターン設定
← 一覧へ 新規作成 ¥ 削	除) () 削除と承認
ID 名称 搏	是作
□ K_01 監視室警告灯	編集

一番下の「新規登録時の点灯パターン」の選択 BOX にてコピーしたい警告灯を選べます。

ュニティ名			
登録時の点灯パターン			
推奨デフォルト設定	~		
推奨デフォルト設定			
監視室警告灯と同じ点灯パターン			
	ユニティ名 登録時の点灯パターン 推奨デフォルト設定 推奨デフォルト設定 監視室警告灯と同じ点灯パターン	 ユニティ名 登録時の点灯パターン 推奨デフォルト設定 推奨デフォルト設定 監視室警告灯と同じ点灯パターン 	ユニティ名 登録時の点灯パターン 推奨デフォルト設定 ∨ 推奨デフォルト設定 監視室警告灯と同じ点灯パターン

これにより、警告灯を追加した際に1から設定する必要なく簡単に導入する事が出来ます。

4 障害時の点灯設定

障害発生時に警告灯をどのように点灯/点滅させるか、ステータスごとに設定します。

X-MON ではデフォルトで以下の障害時通知設定が登録されていますので是非ご使用ください。

標準のホスト障害時通知

標準のサービス障害時通知

二つの点灯パターンについては 3.1 章 警告灯を登録する もしくは障害時点灯設定の各項目を ご参照ください。

4.1 ホスト用とサービス用について

障害時点灯設定では、ホスト用とサービス用と別れて設定します。 これはホスト障害時のステータスとサービス障害時のステータスが違うからです。

ホスト障害時に設定可能なステータス

DOWN/CRITICAL 時の処理詳細 UNREACHABLE/WARNING 時の処理詳細 UP/OK 時の処理詳細

■ サービス障害時に設定可能なステータス

DOWN/CRITICAL 時の処理詳細 UNREACHABLE/WARNING 時の処理詳細 UNKNOWN 時の処理詳細 UP/OK 時の処理詳細

この障害時点灯設定が、ホスト・サービスのエスカレーション設定で選択する項目となります。 適用方法は 5章 ホスト、サービスに対して警告灯を設定する(エスカレーション)をご参照く ださい。

4.2 点灯設定を新規作成する

それでは新規作成をしてみましょう。警告灯は3章で登録した「K_01」が登録されているとします。

設定を新規作成するには「障害時点灯設定」を開きます。

警 습	ち灯一覧									
- 警告灯設定 <u>障害時点灯設定</u> <u>通常時点灯設定</u> <u>点灯パターン設定</u>										
-	- 一覧へ) (Ŧ 新規作成	📕 削除 🛛 🕻 🚺	削除と承認						
	ID	名称	操作							
	□ K_01	監視室警告灯	「 編集							

障害時点灯設定一覧が表示されます。

新たに点灯設定を作成しますので「新規作成」ボタンを押してください。

障	書時点灯設定一覧😯					
<u>警告</u>	<u>灯設定</u> 障害時点灯設					
-	- 一覧へ					
	ID	名称	種別	操作		
	host_default	標準のホスト障害時通知	ホスト用警告灯通知	💊 編集		デフォルトで用意
	service_default	標準のサービス障害時通知	サービス用警告灯通知	💊 編集	$\boldsymbol{\mathcal{L}}$	されている2つ

新規作成の画面が表示されます。

設定例では下記のように設定していきます。

警告灯通知 ID	ServiceAlertSignal01				
警告灯通知タイプ	サービス用警告灯通知				
警告灯通知名称	リファレンス用設定				
監視ステータス	点灯パターン	〇秒後の動作			
DOWN/CRITICAL 時	赤点滅・音有り	5 秒後に消灯消音			
UNREACHABLE/WARNING 時	黄点滅・音有り	5 秒後に消灯消音			
UNKNOWN 時	緑点滅・音有り	5 秒後に消灯消音			
UP/OK 時	赤黄緑点滅・音有り 3秒後に消灯消音				

各入力項目の説明は下記となります。

入力規制はオンラインヘルプをご確認ください。

警告灯通知 ID	任意の警告灯通知 ID を入力します。新規作成時にのみ設定
	可能であり、変更はできません。
警告灯通知タイプ	警告灯通知タイプをセレクトボックスから選択します。
	・ホスト用警告灯通知
	・サービス用警告灯通知
	新規作成時にのみ設定可能であり、変更はできません。
警告灯通知名称	画面表示用の名称を入力します。省略された場合、ID と同じ
	文字列が設定されます。
DOWN/CRITICAL 時の処	DOWN もしくは CRITICAL が発生した時の点灯設定を警告
理詳細	灯ごとに選択します。
	・障害発生時
	障害が発生した時の動作を選択します。
	 〇秒後
	障害が発生してから任意の時間後の動作の選択をします。
UNREACHABLE/	UNREACHABLE もしくは WARNING が発生した時の点灯設
WARNING 時の処理詳細	定を警告灯ごとに選択します。
UNKNOWN 時の処理詳細	警告灯通知タイプをサービス用警告灯通知に選択した時のみ
	設定します。UNKNOWN が発生した時の点灯設定を警告灯
	ごとに選択します。
UP/OK 時の処理詳細	UP もしくは OK が発生した時の点灯設定を警告灯ごとに選
	択します。

警告灯通知名称はサービス(この場合は通知タイプでサービス用を選択しているので)のエスカレーション設定の際に選択 BOX に表示されますので重複しないわかりやすい名称にします。

🔶 〇秒後の動作について

ここで注意して頂きたいのが「〇秒後」の動作についてです。

例えば、下記の通り障害発生時は「赤点滅・音有り」で設定して 5 秒後の動作では「何も行わない」を設定するとします。

DOWN/CRITICAL時の処理詳細						
	警告灯	障害発生時		5秒後の動作	~	
	監視室警告灯	赤点滅・音有り 、	何	も行わない	~	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

この場合、DOWN/CRITICAL を検知すると警告灯に対して「赤点滅・音有り」が実行されま す。しかし、**5 秒後に「何も行わない」ので「赤点滅・音有り」が実行し続けます。**その場合、 警告灯の種類によって警告灯のストップさせるためのボタンを押すなど物理的な動作が必要とな ります。そのため、「O秒後」の動作設定も行うようにしてください。X-MON では「消灯消音」 を推奨設定としています。

二つ以上の警告灯を登録している場合、各ステータスの点灯パターン設定に表示されます。

DOWN/CRITICAL時の処理詳細								
	警告灯	障害発生時			5秒後の動作	~		
	監視室警告灯	赤点滅・音有り	~	消	灯消音	~		
	構築室警告灯	可も 行わない	~	何	も行わない	~		

1つの設定でステータス毎に単一または複数の警告灯を鳴らすこともできます。点灯、点滅をさ せない場合は「何も行わない」を選択します。

障害時点灯設定の作成
警告灯通知ID
ServiceAlertSignal01
警 告灯通知タイプ サービス用警告灯通知 ~
····································
リファレンス用設定
DOWN/CRITICAL時の処理詳細
警告灯 障害発生時 5秒後の動作 > 防御室際告げ キー点域・音声り 当地が消音
警告灯 障害発生時 5秒後の動作 >
監視室警告灯 黄点滅・音有り → 消灯消音 →
UNKNOWN時の処理詳細
警告灯 障害発生時 5秒後の動作 ~ 監視室警告灯 緑点滅・音有り ~ 消灯消音 ~
UP/OK時の処理詳細
警告灯 障害発生時 3秒後の動作 ~ 監視室警告灯 赤黄緑点滅・音有り~ 消灯消音 ~
 キャンセル 作成 作成と承認

それでは、今回使用する設定例に基づいて入力してみます。

入力後「作成と承認」ボタンを押し、X-MON を再起動して登録を完了してください。

正常に登録が出来れば一	覧に表示されます。	

障害時点灯設定一覧								
<u> 警告灯設定</u> 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定								
← 一覧へ 新規作成 図 削除 (● 削除と承認)								
	ID	名称	種別	操作				
	🗆 host_default	標準のホスト障害時通知	ホスト用警告灯通知	く 編集				
	ServiceAlertSignal01	リファレンス用設定	サービス用警告灯通知					
	service_default	標準のサービス障害時通知	サービス用警告灯通知	「 編集」				

4.3 点灯設定を編集する

登録した障害時点灯設定を編集するには一覧から各設定の「編集」ボタンを押してください。

障害	障害時点灯設定一覧							
<u> 警告灯設定 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定</u>								
← 一覧へ ● 新規作成 ● 割除 ● 前除と承認								
	ID	名称	種別操	操作				
	□ host_default	標準のホスト障害時通知	ホスト用警告灯通知	💊 編集				
	ServiceAlertSignal01	リファレンス用設定	サービス用警告灯通知	▲ 編集				
	service_default	標準のサービス障害時通知	サービス用警告灯通知	💊 編集				

入力内容は作成画面と変わりません。

編集を行った後、問題が無ければ「編集と承認」ボタンを押し、X-MON を再起動して変更を確 定させてください。

4.4 点灯設定を削除する

登録した障害時点灯設定を削除するには一覧で対象を選択し、「削除と承認」ボタンを押しま

_	-
ਰ	
9	0
-	•

障害時点灯設定一覧							
- <u> 警告灯設定</u> 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定							
← 一覧へ ● 新規作成 ● 割除 ● 削除							
	ID	名称	種別	操作			
	□ host_default	標準のホスト障害時通知	ホスト用警告灯通知	💊 編集			
	GerviceAlertSignal01	リファレンス用設定	サービス用警告灯通知	「 編集			
	service_default	標準のサービス障害時通知	サービス用警告灯通知	💊 編集			

削除の確認画面が表示されます。

削除される障害時点灯設定の名称が表示されますので、問題が無ければ「OK」ボタンを押し、 X-MON を再起動して削除を確定させてください。

これで点灯設定の削除は完了です。

5 ホスト、サービスに対して警告灯を設定する(エスカレーション)

ホスト、サービスに対しての警告灯の設定方法について解説します。 割り当てる障害時警告灯設定は <u>4 章 障害時の点灯設定</u> で作成した「リファレンス用設定」を使 用します。ホストとサービスの設定方法は同じです。

5.1 設定する

警告灯を設定するには「エスカレーション設定」にて行います。

ここでは「web01」というホストの web サービス監視である「HTTP」に対して設定を行いま

す。

管理者メニュー「ホスト・サービス管理」で該当ホストの「サービス設定」ボタンからサービス 一覧を開き、HTTPの「サービスエスカレーション設定」ボタンを押します。

web01	- サーł	ビス一覧♥						
		***	Q #					
「一戻る」								
ì	選択して下さい 🗸 💊 選択した監視パッケージで登録と承認							
サー	・ビスID	エスカレー	・ション	操作				
	НТТР	有効 ()	無効 0	→ 詳細表示				
	DINC	有効	無効					

開いたサービスのエスカレーション設定画面で「新規作成」ボタンを押します。

I	スカレーション	設定9
<u>ホス</u>	<u>ト設定</u> サービ	ス設定
-	- 戻る 💽 新	規作成 🚺 🗙 削除 🚺 🚱 削除と承認 🛛 💊 エスカレーション対象ー括編集
	絞り込み検索	
	サービス検索:	web01:HTTP x X-MON 検索項目が対象に所属する
	ステータス:	□WARNING □CRITICAL □UNKNOWN □復旧 □フラッピング □認知済み □ダウンタイム 有効 / 無効: 全て ~
	再通知:	□繰り返し□障害ステータス変更時□復旧時 コマンドタイプ: 全て
	エスカレーミ	ション設定がありません。

エスカレーション設定の設定項目についてはオンラインヘルプまたは、サポートサイトで公開中 の「エスカレーション設定クイックリファレンス」をご確認ください。

今回のエスカレーション設定は下記のように行います。

エスカレーション名称	リファレンス用サービスエスカレーション
設定方法	時間指定
エスカレーション対象	web01:HTTP
時間別エスカレーション条件	■ ステータス
	WARNING / CRITICAL / UNKNOWN 0 分経過
	■ コマンド
	警告灯点灯 – リファレンス用設定
	■ 再通知
	障害ステータス変化時 / 復旧時
通知時間帯	24 時間 365 日

エスカレーション条件は「新しい条件の追加」の「条件の追加」ボタンを押します。

ービスエスカレーション設定の作成?					
)キャンセル					
エスカレーション名称					
リファレンス用サービスエスカレーション					
設定方法					
◎時間指定 〇 回数指定					
エスカレーション対象					
O全てのサービス					
◎対象を選択					
web01:HTTP x					
X-MUN					
既に障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。					
時間別エスカレーション条件					
新しい条件の追加別のエスカレーション設定から条件の取得					
条件の追加 選択してください 条件の追加					
選択済みエスカレーション条件					
設定がありません。					
詳細設定					
通知時間帯: 24時間365日 ~					

表示された画面でエスカレーション条件の実行「ステータス」、実行する「コマンド」、再度エス カレーションを実行する「再通知」条件を入力します。

0	回数指定	警告灯点灯			
ン対象		リファレンス用設定			
— 坦	時間別エスカ	標準のサービス障害時通知 コマンド実行			
л\ ГР з	ステータス:	IIS再起動 httpd再起動		分継続	
	コマンド:	Windowsサーバ再起動	~		
発生 —:	再通知 :	選択してください □繰り返し 120 分毎 ☑障害ステータス変更時		 復旧時	

コマンドは「警告灯点灯」の「リファレンス用設定」を選択してください。

以下の様に設定できましたら「追加」ボタンを押します。

時間別エスカレーション条件の追加
ステータス:WARNING/CRITICAL/UNKNOWN vが 0 分継続 コマンド: 追加
リファレンス用設定
追加 キャンセル

これで、このサービスが該当のステータスになった際に、「リファレンス用設定」で設定されているステータスの点灯パターンが実行される、という形になります。

設定例に基づいて入力すると以下となります。

IZ	
	ファレンス用サービスエスカレーション
設定	5
	間指定 〇 回数指定
エス	ィーション対象
	ミてのサービス
	t象を選択
	b01:HTTP x
	MON
	こ障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。
時間	コンション条件
	(計の追加)
	R済みエスカレーション条件
	通知タイミング 中に中容 ため (無効 世)
	インション インシー インシー インシー インション インション インション インション インシー インシー インシー インシー インシー インシー インシー インシ
	ARNING CRITICAL UNKNOWN 御田 発生 × O 下道 リファレンス用設定 👥 🔅
詳細	
	四時間帯・24時間365日。

入力が出来れば「作成と承認」ボタンを押してください。

「エスカレーション設定を追加し反映しました。」と表示され、一覧に設定が表示されます。

□ リファレンス用サービスエスカレーション	··· 🌣 🗙
対象: web01:HTTP 設定方法:時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分	
★ WARNING CRITICAL UNKNOWN 御田 発生時 ▶ 逆 リファレンス用設定	On

これで web01 ホストの HTTP サービスに対して警告灯の設定が完了しました。

この操作に X-MON の再起動は必要ありません。

5.2 エスカレーション対象を追加・削除する

5.1 章で追加した設定ですと、サービスを新たに登録する度にエスカレーション対象へサービス を追加する必要があります。一度に多くのサービスを登録した場合、設定が漏れてしまう可能性 がありますので、警告灯エスカレーション設定の対象をホスト「web01」に所属する全てのサ ービスにしたいと思います。

サービスエスカレーション一覧画面で対象となるエスカレーション設定を選択後、「エスカレー ション対象一括編集」ボタンを押します。

エスカレーション設定🚱	
<u>ホスト設定</u> サービス設 定	
🗕 戻る 💽 新規作成 🔀 削除 💽 削除と承認	
絞り込み検索	
サービス検索: X-MON 対象が検索項目に所属する	
ステータス: □WARNING □CRITICAL □UNKNOWN □復旧 □フラッピング □認知済み □ダウンタイム 有効 / 無効: 全て >	
再通知: □繰り返し□障害ステータス変更時□復旧時 コマンドタイプ: 全て	~
	詳細をすべて開く
☑ ↓ファレンス用サービスエスカレーション	··· 🏟 🗙
対象: web01:HTTP 設定方法:時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分	
★ WARNING CRITICAL UNKNOWN 復田 発生時 」 道 リファレンス用設定	Off

操作タイプを「対象の追加」とし、ホスト「web01」を選択します。

エスカレーション対象一括編集	
エスカレーション設定	
◎ リファレンス用サービスエスカレーション	
操作タイプ	
◉対象の追加 ○対象の削除	
対象の選択	
X-MON	
ホスト ^	
Server1	
X-MON web01	
サービス	
Router:PING	
KOUTET: I KAFFIL.	

以下の様に設定できましたら「変更」ボタンを押します。

エスカレーション対象一括編集	
エスカレーション設定	
◎ リファレンス用サービスエスカレーション	
操作タイプ	
●対象の追加 ○対象の削除	
対象の選択	
web01 x	
X-MON	
	変更キャンセル

対象にホスト「web01」が追加されました。この状態ではホスト「web01」のサービス

「HTTP」へのエスカレーション設定が重複していますのでサービス「HTTP」を削除します。

□ リファレンス用サービスエスカレーション	 Ф	×
対象: web01 web01:HTTP 設定方法:時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分		
☆ WARNING CRITICAL UNKNOWN 御田 発生時 ごご リファレンス用設定	0	

再度対象となるエスカレーション設定を選択後、「エスカレーション対象一括編集」ボタンを押 します。

操作タイプを「対象の削除」とし、ホスト「web01」のサービス「HTTP」を選択します。

※検索ボックスで部分一致を行うと発見しやすくなります。

エスカレーション対象一括編集	
エスカレーション設定	
◇ リファレンス用サービスエスカレーション	
操作タイプ 〇対象の追加 [®] 対象の削除	
対象の選択	
web ホスト web91	
サービス web01:HTTP web01:PINC	
	変更キャンセル

以下の様に設定できましたら「変更」ボタンを押します。

エスカレーション対象一括編集	
エスカレーション設定	
◎ リファレンス用サービスエスカレーション	
操作タイプ	
○対象の追加 ●対象の削除	
対象の選択	
web01:HTTP x	
	変更キャンセル

対象がホスト「web01」のみとなりました。

ロ リファレンス用サービスエスカレーション	 ¢ ×
対象: web01 設定方法:時間指定 / 通知時間帯:24時間365日 / 初回通知の遅延時間:0分	
WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧 発生時 S→ 道 リファレンス用設定	On O

この状態でホスト「web01」の全てのサービスがエスカレーション対象となり、新たにホスト ヘサービスを追加した際も、自動でエスカレーション対象となります。

5.3 警告灯(エスカレーション)を無効・削除する

5.3.1 設定を無効にする

設定は残したまま、一時的に無効にすることが出来ます。

各エスカレーション設定の右上のアイコン「…」を押し詳細を開いた状態で、各エスカレーション条件に「On」と書かれたボタンがあります。

□ リファレンス用サービスエスカレーション		۵	×
対象: web01 設定方法:時間指定 / 通知時間帯:24時間365日 / 初回通知の遅延時間:0分			
WARNING CRITICAL UNKNOWN 復田 発生時 Signature リファレンス用設定 Signature リファレンス用設定 Signature リファレンス用設定 Signature ローク S		•	D
この「On」ボタンを押し、「Off」とすることでエスカレーション条件を無効にできます	す。		
再度有効にするには同じ様に「Off」ボタンを押します。			
□ リファレンス用サービスエスカレーション		\$	¢

	🌣 🤇
対象: web01 設定方法:時間指定/通知時間帯:24時間365日/初回通知の遅延時間:0分	
▲ WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧 発生時 ● 道 リファレンス用設定	Off

5.3.2 設定を削除する

設定を削除するにはエスカレーション設定右上の×ボタンを押します。

□ リファレンス用サービスエスカレーション	 ¢	×
対象: web01 設定方法:時間指定/通知時間帯:24時間365日/初回通知の遅延時間:0分		
WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧 発生時 □ □ リファレンス用設定	0	n 🔿

削除されるエスカレーション設定の名称が表示されますので、問題が無ければ「削除」ボタンを 押してください。

6 通常時の点灯設定

この章では通常時の点灯設定について解説します。

X-MON は定期的に現在の X-MON 全体の警告(ステータス)状況を警告灯にて通知することが

できます。定期的に確認する間隔は1分です。

O秒後の設定はありませんので、同じ点灯/点滅の設定が1分間続きます。

どのステータスが存在するか、存在しないかで通知する点灯パターンを編集出来ます。

また、定期通知の有無にて通常点灯を行うか行わないかを選択することができます。

デフォルトでは通常時点灯は行いません。

6.1 設定について

通常時点灯を設定するには「通常時点灯設定」を開きます。

通常時点灯設定一覧
定期通知の有無
現在、通常時点灯は無効になっています。
通常時点灯を行わない~

■ 定期通知の有無

点灯設定について、X-MON にはデフォルトで設定が入っていますので点灯を行う場合は「定期 通知の有無」を「通常時点灯を行う」として「変更」を押してください。 X-MON の再起動は必要ありません。

定期	通知の有無	定期通知の有無
	現在、通常時点灯は無効になっています。	現在、通常時点灯は有効になっています。
	通常時点灯を行わない 🗸 🔩 変更	通常時点灯を行う 🔷 💊 変更
対応	ステータス	対応ステータス

有効になれば、「現在、通常時点灯は有効になっています」の表示になります。 有効にすると、ステータスのパターンによる点灯設定が全て有効となります。 ■ 対応ステータス

X-MON が取り得るステータスパターンが全て表示されています。

〇がそのステータスが存在する状態です。

対応スラ	テータス				
DOWN	UNREACHABLE	CRITICAL	WARNING	UNKNOWN	
×	×	×	×	×	💽 設定
0	×	×	×	×	1 設定
×	0	×	×	×	1 設定
0	0	×	×	×	1 設定
×	×	0	×	×	1 設定
0	×	0	×	×	1 設定

デフォルト設定のステータスに対する点灯は以下の組み合わせになります。

DOWN / UNREACHABLE / CRITICAL のいずれかが発生している

→ 赤点灯

WARNING が発生している

→ 黄点灯

UNKNOWN が発生している

→ 緑点灯

そのため、CRITICAL と WARNING だけが発生している場合は

- → 赤黄点灯
- となります。

通常時点灯のデフォルトではいずれも音はなりません。

6.2 ステータス状況に対する設定を変更する

ステータス状況に対する設定を変更するには、該当のステータスの「設定」ボタンを押します。

対応ステ	=−タス				
DOWN	UNREACHABLE	CRITICAL	WARNING	UNKNOWN	
×	×	×	×	×	1 設定
0	×	×	×	×	1 設定
×	0	×	×	×	💽 設定
0	0	×	×	×	1 設定

「設定」を開くと対象ステータスと、現在の警告灯に対する点灯パターンが表示されます。以下の例の場合はステータスで DOWN がある場合の点灯パターンです。

選択 BOX より、点灯パターンを選択出来ます。

通常時点灯設定の編集の		点灯パターン
● キャンセル	J	赤点灯・音無し 🗸
	J	消灯消音
設定対象ステータス	Γ	何も行わない
DOWNUNREACHABLECRITICALWARNINGUNKNOWN		
0 x x x x		亦更称只滅・首有り
処理詳細	2	赤点滅・音有り
	_	黄点滅・音有り
		緑点滅・音有り
		縁点灯・音無し
▲ キャンセル ▲ 編集 ▲ 編集 ▲ 2000 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		黄点灯・音無し
		黄緑点灯・音無し
		赤点灯・音無し
		赤緑点灯・音無し
		赤黄点灯・音無し
		赤黄緑点灯・音無し

選択を行った後、問題が無ければ「編集と承認」ボタンを押し、X-MON を再起動して変更を確 定させてください。

6.3 運用事例

実際の運用での使用パターンとしては、障害時点灯設定を設定せずに通常時点灯設定を使用す る、というのがあります。

障害時点灯設定ではホストとサービスのエスカレーション設定をする必要があります。

しかし、登録ホストやサービスが多い場合管理が大変になる運用もあると思います。

その場合個々のホストやサービスでステータスが変化した場合に警告灯にエスカレーションするのではなく、X-MON 全体で定期的にステータス状況を確認し、それに沿って警告灯を鳴らすという事が出来ます。

7 点灯パターン設定

この章では点灯パターン設定について解説します。

点灯パターン設定は、障害時点灯設定、通常時点灯設定で使用します。

X-MON にはデフォルトでいくつかのパターンが用意されていますが新規作成、また編集が出来ます。

点灯パターンの表示の説明などはオンラインヘルプをご確認ください。

7.1 点灯パターンを新規作成する

新規に点灯パターンを作成するには「点灯パターン設定」で「新規作成」ボタンを押します。

点灯パターン一覧					
<u>警告</u>	灯設定 障害時点灯設	<u>没定 通常時点灯設定</u>	点灯パターン。	设定	
-	 一覧へ 新規作 	成 🛛 🛛 削除 💽	削除と承認		
	ID	名称	点灯パターン	操作	
	default	消灯消音			
	noSendSignal	何も行わない	送信しない		
	□ xmon bbb so	赤莆緑占減・音有り		▲ 編集	

点灯パターン作成の画面が表示されます。

各入力項目は下記となります。

ID	任意の点灯パターン ID を入力します。
	新規作成時にのみ設定可能であり、変更はできません。
パターン名称	画面表示用の名称を入力します。
	省略された場合、ID と同じ文字列が設定されます。
赤、黄、緑	各配色の点灯パターンを選択します。
	消灯 / 点灯 / 点滅
音	ブザー音のパターンを選択します。
	なし / パターン / パターン 2

パターン名称は障害時点灯設定、通常時点灯設定で使用される名前ですのでわかりやすい名称を お勧めします。 例では下記のようなパターンを作成します。

ID	CRITICAL01
パターン名称	リファレンス用パターン
赤、黄、緑	・赤/点滅 ・黄/点灯 ・緑/消灯 ・音/パターン 1
音	・パターン 1

設定例に基づいて入力すると以下の画像となります。

灯パタ- 9 キャン	- ンの作成® セル	•			
ID					
	CRITICA	L01			
バタ	7ーン名称				
	リファレ	ンス用パター	シ		
赤					
	〇 <mark>消灯</mark>	○点灯	◉ 点滅		
黄					
	○ <mark>消灯</mark>	◉ 点灯	○ 点滅		
緑					
	◎ <mark>消灯</mark>	○点灯	○点滅		
音					
	○ なし	◎ パター:	ン1 0パター	ン2	
キ ャン	ชน 🔽	作成	作成と承認		

入力が出来たら作成と承認を押してください。

「設定を追加し反映しました。」と表示されますので X-MON を再起動させて完了です。

それでは追加されたか確認してみましょう。

点灯パターン設定を開くと、作成した点灯パターンが追加されています。

点	点灯パターン一覧				
<u>警告</u>	灯設定 障害時点灯設	定 通常時点灯設定 点火	「パターン設定		
(+	 一覧へ 新規作 	成 🚺 削除 🚺 🍞 削除 ८	上承認		
	ID	오称	占灯パターン	握作	•
	CRITICAL01	リファレンス用パターン	•	💊 編集	
	default	消灯消音			
	noSendSignal	何も行わない	送信しない		
	vmon bbb so	赤黄緑占減・音有り		4. 絙隹	

登録された点灯パターンは「障害時点灯設定」と「通常時点灯設定」で選択できるようになりま

す。

図 障害時点灯設定

DOV	VN/CRITIC	AL時の処理詳細	
	警告灯	障害発生時	5秒後の動作 ~
	監視室警告灯	赤点滅・音有り	<mark>消</mark> 灯消音 v
	構築室警告灯	リファレンス用パターン	何も行わない ~
		消灯消音	

図 通常時点灯設定

処理詳細				
警告灯	点灯パターン			
監視室警告以	赤点灯・音無し	~	1	
構築室警告炊	リファレンス用パターン			
	消灯消音			

以上で点灯パターンの作成は完了です。

7.2 点灯パターンを編集する

登録した点灯パターン設定を編集するには一覧から各設定の「編集」ボタンを押してください。

点灯バターン一覧						
<u> 警告灯設定 障害時点灯設定 通常時点灯設定 点灯パターン設定</u>						
	-	- 一覧へ 💽 新規作	成 🛛 🛛 割除 💽 削除る	上承認		
		ID	名称	点灯パターン	操作	
		CRITICAL01	リファレンス用パターン	م 🔳	💊 編集	
		default	消灯消音			
		noSendSignal	何も行わない	送信しない		

入力内容は作成画面と変わりません。

編集を行った後、問題が無ければ「編集と承認」ボタンを押し、X-MON を再起動して変更を確 定させてください。

7.3 点灯パターンを削除する

登録した点灯パターン設定を削除するには一覧で対象を選択し、「削除と承認」ボタンを押します。

点灯パターン一覧					
- <u>警告</u>	灯設	定 <u>障害時点灯</u> 影	<u> 定 通常時点灯設定 点火</u>	「パターン設定	
← 一覧へ ● 新規作成 ● 削除 ● 削除と承認					
_		ID	名称	点灯パターン	操作
		CRITICAL01	リファレンス用パターン	ي 📃 ک	💊 編集
	C	default	消灯消音		
noSendSignal			何も行わない	送信しない	
		ymon bbb so	赤黄緑占減・音有り		《编集》

削除される点灯パターンの名称が表示されますので、問題が無ければ「OK」ボタンを押し、X-MON を再起動して削除を確定させてください。

🛕 使用している点灯パターンを削除する際の注意点

障害時点灯設定、通常時点灯設定で使用している点灯パターンを削除すると、自動的に障害時点灯設定は「何も行わない」、通常時点灯設定は「消灯消音」が設定されます。